

添付資料:今夏の電力需給見通しの概要について(見直し後)

1. 原子力の再稼働がないとした場合の需給バランス

- 各H1需要(1日最大電力)における今夏の需給バランス(供給予備率)は、以下のとおり。
 ① 定着節電を織り込み、平年並み気温の場合 : (7月) 11.8% (8月) 10.7%
 ② 定着節電を織り込み、2010年度猛暑並み気温の場合 : (7月) 8.1% (8月) 7.0%

※<>内は見直し前の数値

(単位:万kW, %)

		7月		8月	
		①	②	①	②
H1需要		1,089	1,128	1,089	1,128
供給力	原子力	0		0	
	火力	1,037		1,057	
	水力	54		48	
	揚水	137	139	135	137
	地熱・太陽光・風力	49		50	
	融通	▲53		▲79	<▲69>
	新電力への供給等	▲6		▲6	
合計		1,218	1,220	1,205 <1,215>	1,207 <1,217>
供給予備力		129	92	116 <126>	79 <89>
供給予備率		11.8	8.1	10.7 <11.6>	7.0 <7.9>

(注1) 定着節電は▲44万kWを織り込み。

(注2) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

2. 需要見通し

【需要見通しについては変更なし】

【今夏(2015年度)見通し(H1)】

※H1:1日最大電力, H3:最大3日平均電力

H1需要(万kW)	備考
① 1,089	・節電織り込み ・平年並み気温 【2015年度H3想定 1,076万kW】 ×【過去5年間のH1/H3比率 1.0123】
② 1,128	・節電織り込み ・2010年度猛暑並み気温 ((【2015年度H3想定 1,076万kW】+【2010年度猛暑影響 38万kW】) ×【過去5年間のH1/H3比率 1.0123】

【要因別影響(H3)】

■ 今夏(2015年度)見通し

2015年度対2010年度	万kW
2015年度想定	1,076
2010年度実績	1,191
差分	▲115
気温影響	▲38
節電影響	▲44
経済影響	▲26
離脱影響	▲7

■ 昨夏(2014年度)実績

2014年度対2010年度	万kW
2014年度実績	1,033
2010年度実績	1,191
差分	▲158
気温影響	▲74
節電影響	▲52
経済影響	▲27
離脱影響	▲5

【気温感応度】(単位:万kW/°C)

2015年度想定	30
2014年度実績	30
2013年度実績	30

【気温関連データ】(単位:°C)

過去10年間の最高気温の平均値	35.3
2010年度猛暑の最高気温	35.9